

霧島山の火山活動解説資料(平成20年11月)

福岡管区气象台
火山監視・情報センター
鹿児島地方气象台

新燃岳

新燃岳では、11月に噴火は発生しませんでした。また、火山性地震は少なく、火山性微動は観測されませんでした。

現在、火口内及び火口外西側斜面は噴気が観測されており、火口内では火山灰等の噴出に引き続き警戒が必要です。

平成20年10月29日に噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

11月の活動概況

・噴煙など表面現象の状況(図1)

今期間、噴火は発生しませんでした。

白色の噴煙が火口縁上50m~600mの高さに上がっているのを観測しました。噴煙が最も高く上がったのは12日、13日及び30日で、それぞれ火口縁上600mまで上がりました。

・地震や微動の発生状況(表1、図1、図2)

火山性地震の月回数(10月:77回)と減少していますが、8月22日の噴火前に比べて、やや多い状態が継続しています。火山性地震の震源はこれまでと同様、新燃岳付近のごく浅いところに分布しました。

火山性微動は、観測されませんでした(10月:なし)。

・地殻変動の状況(図4、図5)

GPSによる連続観測では、長期的には新燃岳の山体膨張を示す観測結果が得られていますが、2007年(平成19年)4月頃からは伸びにはやや鈍化の傾向がみられます。

・火口内の状況(図6)

11月13日に第十管区海上保安本部の協力を得て航空機による上空からの観測を行いました。10月28日の現地調査に比べて、噴煙の状況に大きな変化はありませんでした。

この資料は気象庁の他、東京大学、鹿児島大学、独立行政法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図50mメッシュ(標高)」、「数値地図10mメッシュ(火山標高)」を使用しています(承認番号:平17総使、第503号)。

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ(<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>)、福岡管区气象台ホームページ(<http://www.fukuoka-jma.go.jp/>)で閲覧することができます。次回の火山活動解説資料(平成20年12月分)は平成21年1月7日に発表予定です。

表1 霧島山(新燃岳) 最近1年間の地震・微動回数(2007年12月~2008年11月)

2007~2008年	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
地震回数	118	2	3	13	19	25	4	4	1005	204	77	32
微動回数	0	0	0	0	0	0	0	0	3	4	0	0

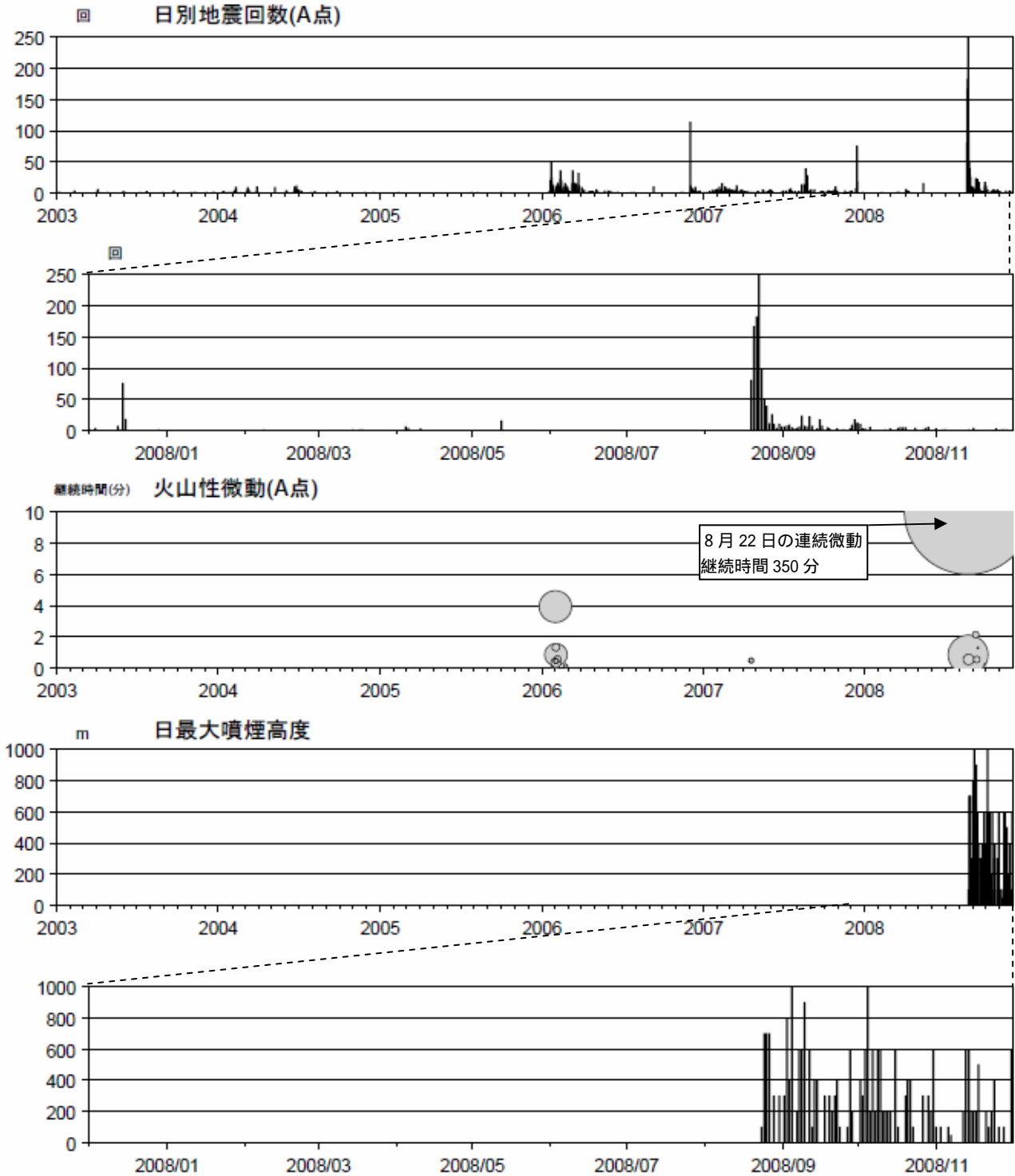


図1 霧島山(新燃岳) 火山活動経過図(2003年1月~2008年11月)

- ・ 白色の噴煙が火口縁上概ね50m~600mの高さで推移しました。
- ・ 火山性地震の月回数は、先月より減少していますが、噴火前に比べてやや多い状態が継続しています。
- ・ 火山性微動は、観測されませんでした。

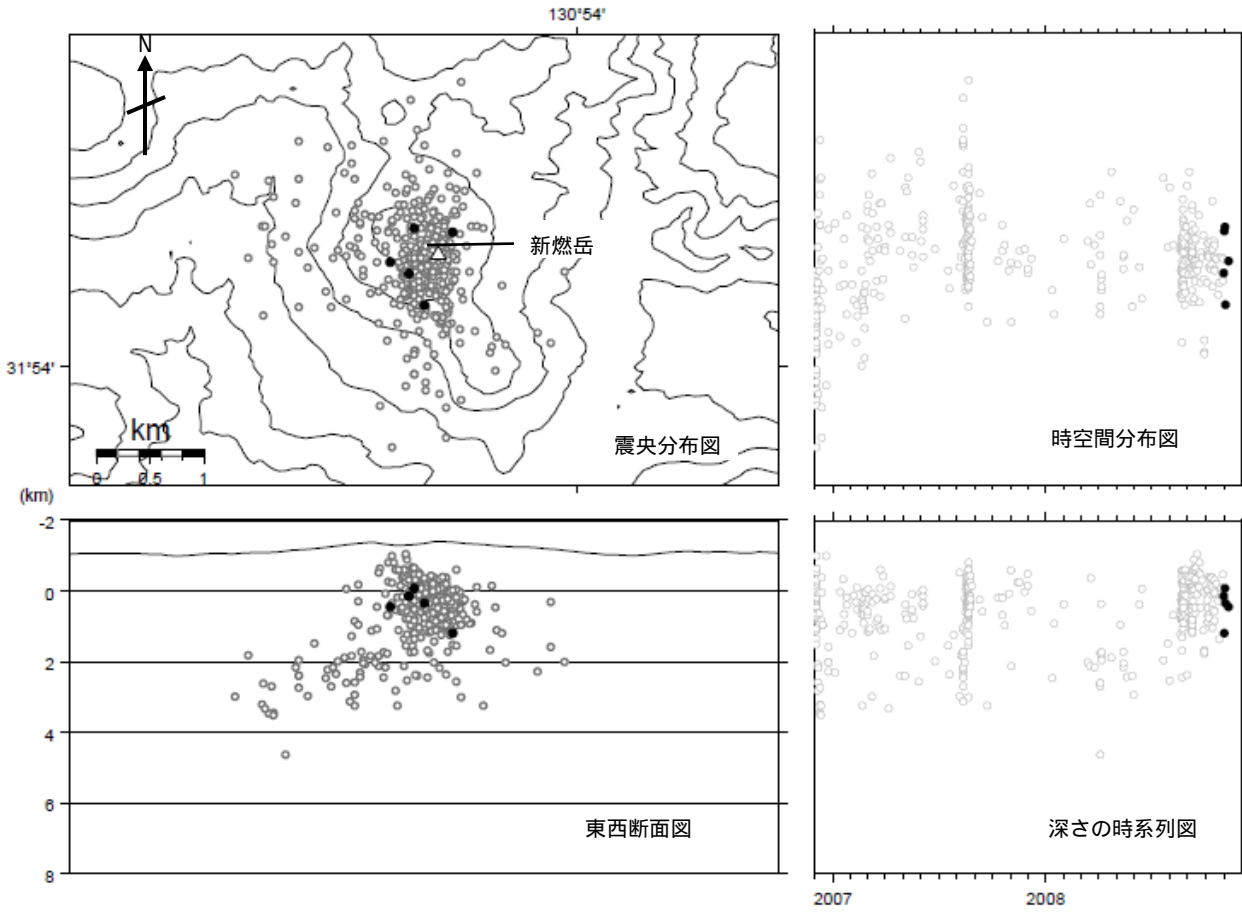


図2 霧島山(新燃岳) 震源分布図(2007年12月~2008年11月)

- ・今期間の火山性地震の震源は、新燃岳付近のごく浅いところに分布しました。
- ・2008年11月以降の震源は黒丸で表示しています。

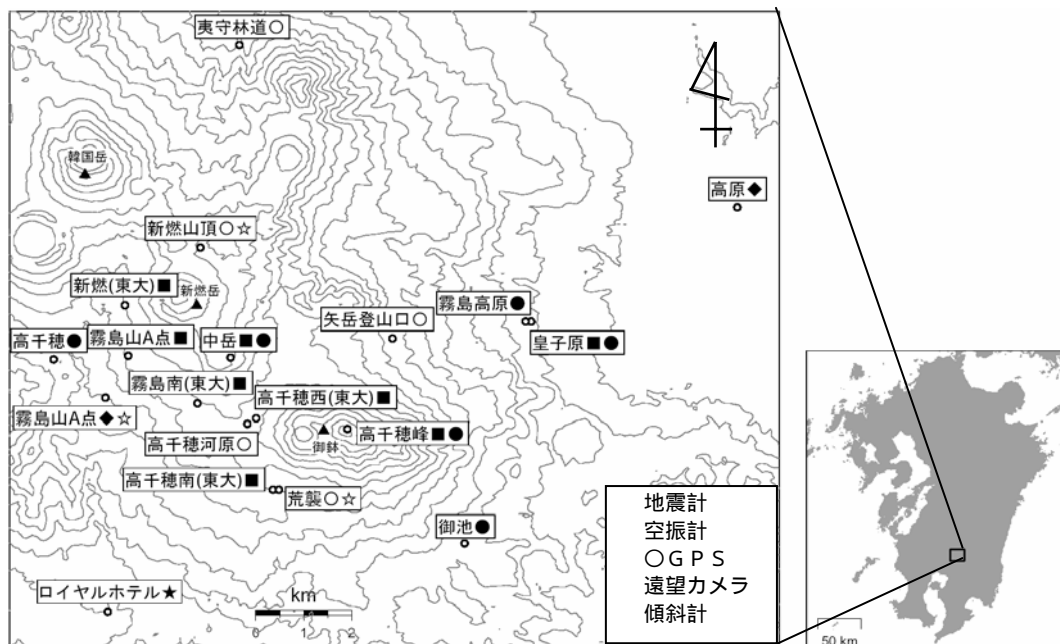


図3 霧島山 観測点配置図

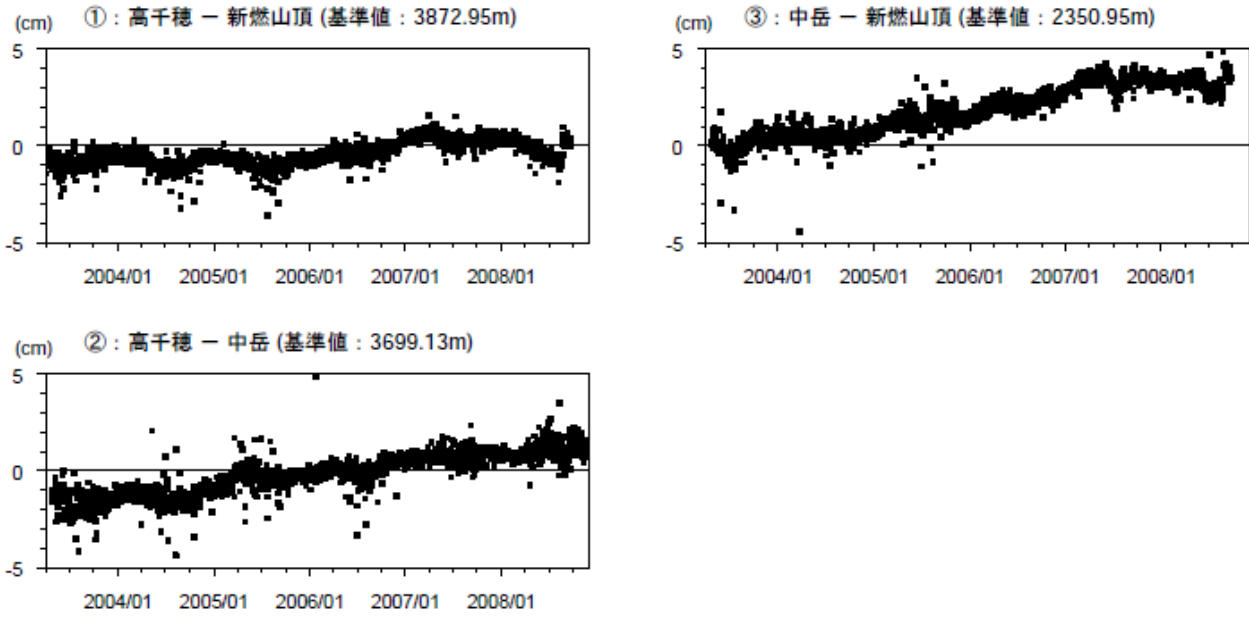


図4 霧島山(新燃岳) GPS連続観測による基線長変化(2003年4月~2008年11月)
 新燃岳は長期的には山体膨張の傾向がありますが、2007年4月頃からは伸びがやや鈍化しています。

*新燃山頂観測点は現地収録観測点のため、今期間のデータは後日掲載します。

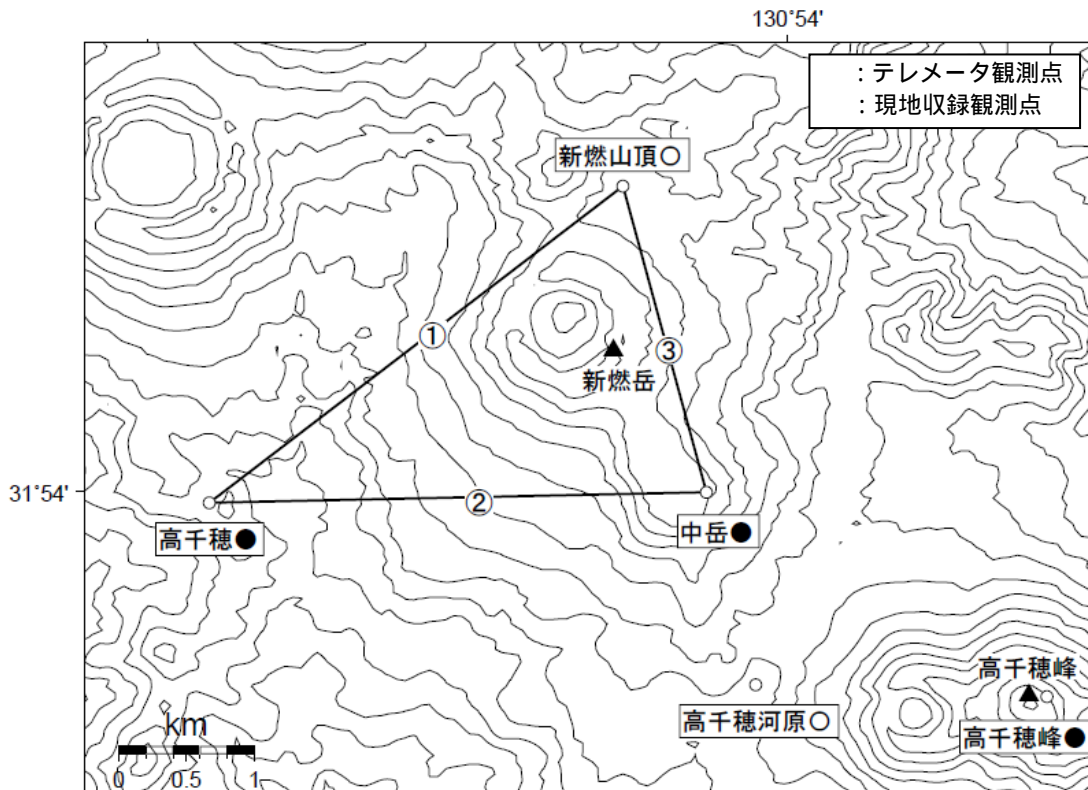


図5 霧島山(新燃岳) GPS連続観測点と基線番号
 新燃岳を囲んだ3観測点の基線による観測を行っています。
 この基線は図4の ~ に対応しています。



図6 霧島山(新燃岳) 火口内の状況
火口内の噴煙量は、10月28日の現地調査と比べて大きな変化はありませんでした。

御鉢

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は見られません。
 平成19年12月1日に噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)を発表しましたが、その後、予報警報事項に変更はありません。

11月の活動概況

- ・噴気などの表面現象の状況(図7)

火口縁を超える噴気は観測されませんでした。

- ・地震や微動の発生状況(表2、図7)

火山性地震の月回数は、1回(10月：2回)と少ない状態で経過しました。また、火山性微動は観測されませんでした(10月：3回)。

- ・地殻変動の状況(図8、図9)

GPS連続観測では、火山活動に起因するとみられる変化は認められませんでした。

表2 霧島山(御鉢) 最近1年間の地震・微動回数(2007年12月~2008年11月)

2007~2008年	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
地震回数	3	2	3	5	7	0	5	1	1	0	2	1
微動回数	0	2	1	2	5	0	1	0	2	0	3	0

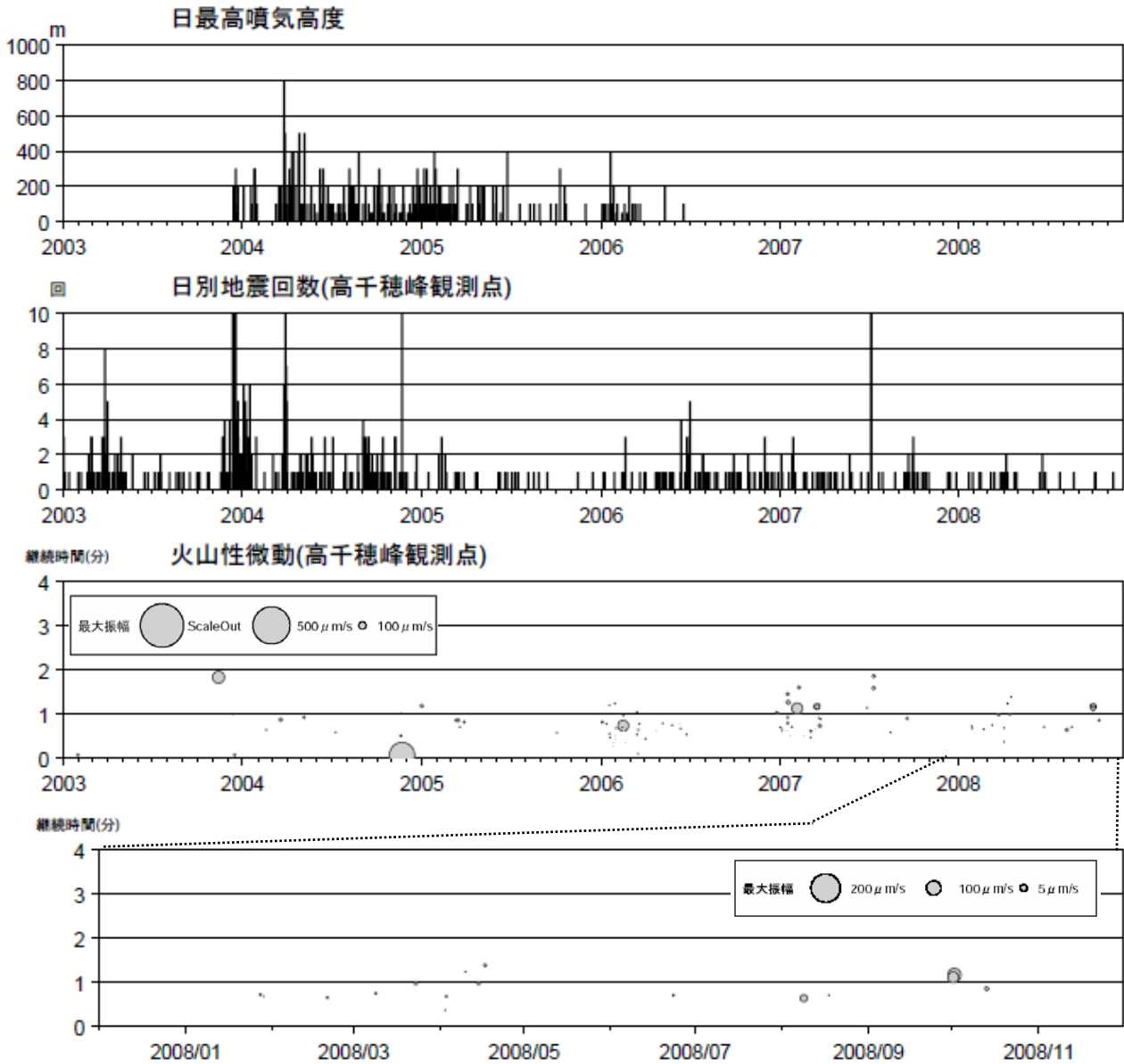


図7 霧島山(御鉢) 火山活動経過図(2007年12月~2008年11月)

- ・火口縁を超える噴気は観測されませんでした。
- ・火山性地震の月回数は、1回と少ない状態で経過しました。
- ・火山性微動は、観測されませんでした。

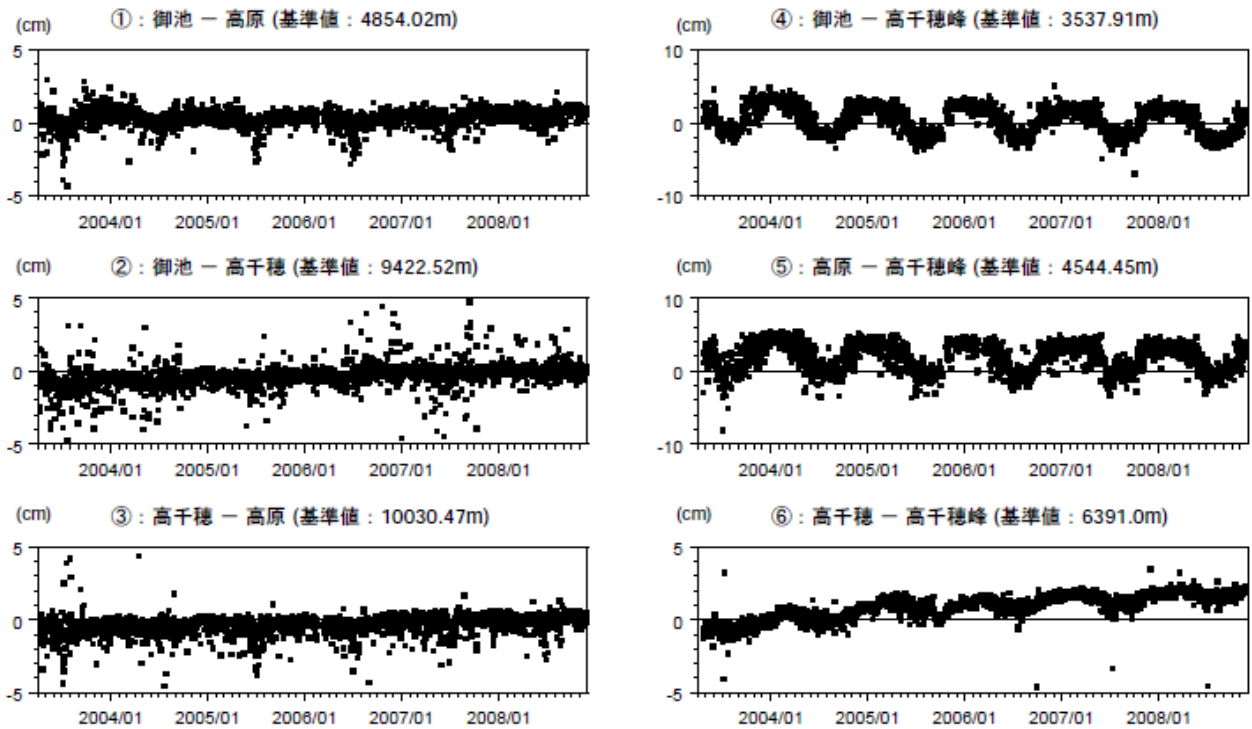


図8 霧島山(御鉢) GPS連続観測による基線長変化(2003年4月~2008年11月)
GPS連続観測では、火山活動に起因するとみられる変化は認められませんでした。

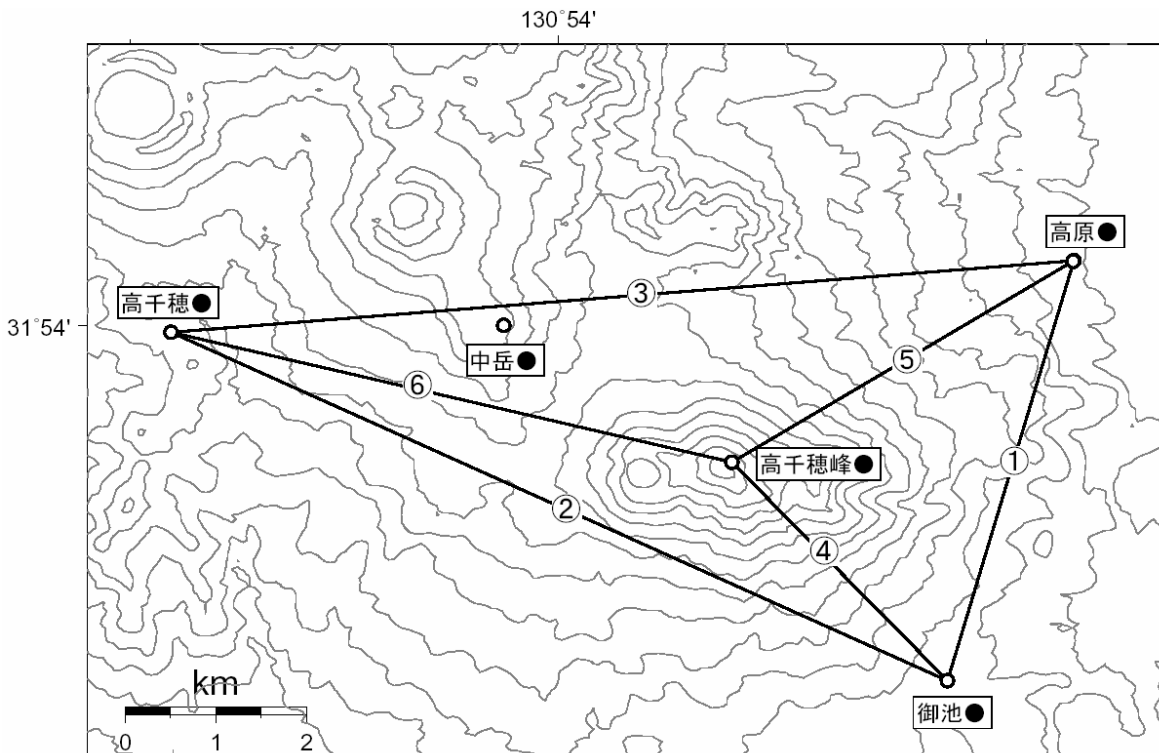


図9 霧島山(御鉢) GPS連続観測点と基線番号
御鉢を囲んだ観測点の基線による観測を行っています。この基線は図8の ~ に
対応しています。